

平和への問い

那覇市立小祿中学校 二年

奥間 野々夏

いつ平和になったと思いましたが
そうだねえ おそろおそろ山を降りて
米兵から食べ物ももらった時さあ
いつ平和になったと思いましたが
収容所につれていかれて

これからどうなるのか不安でいっぱいの時
沖繩の演劇会がみられた時かねえ
いつ平和になったと思いましたが
収容所から自分の村にもどって
また畑を耕すことができた時かねえ
いつ平和になったと思いましたが
あっしえ

いまだに自分の土地に帰れないんだよ
沖繩の空を戦闘機が悠々と飛行してるさあ
地面に埋まった爆弾はいつまで静かかねえ
まだ埋葬されていない遺骨はあとどれくらい
待てばいいのかなえ

今が平和だというなら
なぜまた新しい基地が必要なのかねえ
戦後六十九年
二歳だったおばあは七十すぎたさ
八歳だったおじいは八十ちかくだよ
時間だけが過ぎてるさあ

おじい おばあが生きてる間に
あんたたちに安心して託せる
平和な沖繩見たいねえ
誰にとつての平和かねえ
何が平和かねえ
私達は生きている

今日の命 明日の命
心配せずに生きている
学校で学べる毎日
友だちと遊べる毎日
家族と過ごせる毎日
それが平和だと言うなら平和なのだ

でも目をこらしていないといけない
かつて沖繩が味わった戦のように
気付かないうちに
それは忍び寄ってくる

日本の 世界の
情報は正しいのだろうか
何が事実なのか
何に気付かないといけないのか
どう判断するべきなのか

おじい おばあがつないでくれた命を
戦で 二度と失いたくない
私たちは学び続け
考え続けなければならぬ
何をもって平和だというのかを
どんな姿が沖繩の平和であるかを

おじい おばあ
今年も行こうねえ
ひいおじいちゃん達の名前が刻まれた礎へ
そして
何が平和なのかを
私達がしなければならぬことを
今年もいっぱい考えるさあ